

ソフトウェア業における労働災害発生状況（1999-2022年）

ソフトウェア業 コードNo.120102

ソフトウェア業における事故の型別労働災害発生状況（1999-2022年）

事故の型	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
墜落・転落	4	4	1	3	2	1	8	6	5	7	6	7	3	3	3	3	6	6	5	3	10	5	5	6	112
転倒	6	5	7	11	8	6	5	2	10	12	14	13	11	7	11	15	12	13	17	14	21	2	8	17	247
激突		1		1	1			1	1		1	2		1	2				1	1	2	2	3	2	22
飛来・落下	1		1	1	1													1	1	1	2			1	10
崩壊・倒壊						1				1			1									1		1	5
激突	1		1	2					1			1							1	1				1	9

物との接触																1				1				2	
感電																1								1	
爆発																									
破裂																									
火災	2																							2	
交通事故 (道路)	6	3	6	4	4	4	2	2	3	7	5	5	4	4	5	2	5	5		1	4	5	4	90	
交通事故 (その他)							1			1														2	
動作の 反動無 理な 動作	2	1	1	2	2	7	3	5	5	8	3	4	6	3	3	4	2	4	7	6	5	7	3	4	97

化学設備						1																	1		
溶接装置																									
炉、釜等																									
電気設備								1								1				1			3		
人力機械工具等		1		1	3	1			1		1				1	1	1	1	2	1	3	1		19	
用具	1		1	3			1	2	1	1	3	1	1	2	1	1	1		1	1	6	1	1	5	35
その他の装置、設備						1		1	1			1	2	2	1	1		1		1	1	3	1	1	18
仮設物、建築物等	9	9	5	8	10	9	11	7	12	18	17	16	11	9	11	15	15	20	19	16	21	8	11	16	303
危険物、有	2																1							1	4

械																											
伐木等 機械																											
走行集 材機械																											
架線集 材機械																											
その他 の車両 系林業 機械																											
クレー ン																											
移動式 クレー ン																											
デリッ ク																											
エレ ベー タ、リ																											

フト																								
揚貨装置																								
ゴンドラ																								
機械集材装置、運材索道																								
簡易架線集材装置																								
その他の動力クレーン等																								
トラック										1							2				2		5	
フォークリフ										1							1						2	

手工具																				1				1	
はしご 等						1	2			1	1		1		1				1	2		1	3	14	
玉掛用 具																									
その他 の用具			1					1	1	2		1	1	1		1		1		4	1		2	17	
その他 の装 置、設 備							1	1			1	2	2	1	1		1		1	1	3	1	1	17	
足場																				1				1	
支保工																									
階段、 栈橋			1		4		6	3	4	7	7	7	3	3	5	2	5	7	4	4	8	5	4	4	93
開口部			1							1						1		1						4	
屋根、 はり、 もや、 けた、																					1			1	

立木等																									
水																									
異常環境等																									
高温・低温環境													1												1
その他の環境等							1		1		1	3	3		2	1			1	1	1	2	1	3	21
その他の起因物			3		1				7	1		3				1		1	2		3	6	27		55
起因物なし			2				2	1	1	4	1	2	3	3	4	2	4	2	5	6	5	1	2	7	57
分類不能					1		2	1		1								1				1			7
合計	23	16	19	24	21	22	22	17	33	38	31	35	27	21	25	26	31	32	35	28	48	28	53	37	692

ソフトウェア業における年齢別労働災害発生状況（1999-2022年）

者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計
9人以下	4	1	5	2	2	4	5	2	5	3	3	4	5	2	4	1		2	4	5	3	4	6	5	81
10人-29人	9	4	2	5	1	4	4	3	2	2	5	4	3	3	5	6	2	1	8	5	18	7	11	9	123
30人-49人	2	1	3	5	2	1	2		2	5		7	6	5		2	7	4	3	1	3	1	3	3	68
50人-99人	3	1	2	3	6	2	2	1	9	6	5	2	4	4	3	2	7	3	4	1	9	7	22	6	114
100人-299人	1	3	4	4	8	6	7	7	5	5	5	11	4	5	5	6	4	10	9	7	7	3	8	5	139
300人以上	4	6	3	5	2	5	2	4	10	17	13	7	5	2	8	9	11	12	7	9	8	6	3	9	167
合計	23	16	19	24	21	22	22	17	33	38	31	35	27	21	25	26	31	32	35	28	48	28	53	37	692

ソフトウェア業における月別労働災害発生状況（1999-2022年）

福井							1				1						1				1		4		
山梨																									
長野		1	1		1				1		1			1	1	3		1			2		1	14	
岐阜									1															1	
静岡	1		1		1						1	1	1	2		2		2	2	2	3		1	20	
愛知	3				1		1		2	1	1	1	1	3	4	3	1	2	2	2		4	3	35	
三重			1				1																	2	
滋賀			2							1	1		1											5	
京都												1	1			1	1	2		2	6	2	1	17	
大阪	2	1	3		4		1	3		7	2	4	1		1		2	5	2	2	5	2	2	5	54
兵庫							1	1	8	1	2			3		3			1	2	6	2		30	
奈良		1								1														2	
和歌山																									
鳥取											1							1			1			3	
島根		1																						1	
岡山			1									1			1					1				4	
広島			1									1		1		1			1					6	
山口																1						9	1	11	

徳島					1												1								2
香川																	2				1				3
愛媛			1				1							1	2										5
高知							1	1																	2
福岡			1		2				1	2		1		1	1		1	1	1		4	1	6	2	25
佐賀																									
長崎																					1				1
熊本			1							1	1					1								1	5
大分		1						1			1								2			1		1	7
宮崎															1		1				1		3	1	7
鹿児島					2					1			1				1		2					1	8
沖縄																									
合計	23	16	19	24	21	22	22	17	33	38	31	35	27	21	25	26	31	32	35	28	48	28	53	37	692

休業4日以上の労働災害（職業性疾病を含む。）を計上。2022年のデータは新型コロナ罹患を含まない。2021年、2020年のデータは新型コロナ罹患を含む。2011年のデータは東日本大震災による労働災害を含む。

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。

運搬機 械																								
その他 の装置 等																								
仮設 物、建 築物、 構築物 等																								
物質、 材料	1																							1
荷																								
環境等																								
その他				1					1			1	2		1	2		1				1		10
合計	1			2		1	1	1	2	1	1	1	2		1	2		1				1		18

ソフトウェア業における起因物（中）別死亡災害発生状況（1999-2022年）

起因物 （中）	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合 計
------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--------

備																								
仮設 物、建 築物等																								
危険 物、有 害物等	1																							1
材料																								
荷																								
自然環 境等																								
その他 の起因 物				1																				1
起因物 なし									1			1	2		1	2		1					1	9
分類不 能																								
合計	1			2		1	1	1	2	1	1	1	2		1	2		1					1	18

能																										
合計	1				2		1	1	1	2	1	1	1	2		1	2		1					1		18

ソフトウェア業における年齢別死亡災害発生状況（1999-2022年）

年齢	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	
19歳以下																										
20歳-29歳					2				1	1		1					1									6
30歳-39歳											1															1
40歳-49歳	1						1			1				2			1									6
50歳-59歳													1			1			1					1		4
60歳以上								1																		1
合計	1				2		1	1	1	2	1	1	1	2		1	2		1					1		18

ソフトウェア業における死亡者規模別死亡災害発生状況（1999-2022年）

労働者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
9人以下													1	1											2
10人-29人	1							1		1							2								5
30人-49人										1				1											2
50人-99人					1		1																		2
100人-299人					1				1			1				1									4
300人以上										1									1				1		3
合計	1				2		1	1	1	2	1	1	1	2		1	2		1				1		18

ソフトウェア業における月別死亡災害発生状況（1999-2022年）

徳島																								
香川																								
愛媛																								
高知																								
福岡																								
佐賀																								
長崎																								
熊本																								
大分																								
宮崎																1								1
鹿児島																								
沖縄																								
合計	1				2		1	1	1	2	1	1	1	2		1	2		1				1	18

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

ソフトウェア業における死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発生時	死亡災害事例	起因物 (小)	事故の 型	労働 者規 模
2021	1	8 ～ 10	出張中、宿泊していたホテルの近くの橋から飛び降り死亡。	起因物なし	その他	300 ～ 499
2017	1	8 ～ 9	被災者は、出勤途上、自宅最寄り駅のホーム上で倒れ、病院に搬送されたものの、急性心筋梗塞で死亡が確認された。被災者は、部下11人を率いる管理監督者であり、営業担当責任者として業務過多になり、時間外労働は、最長月195時間に達していた。	起因物なし	その他	1000 ～ 9999
2015	1	0 ～ 1	客先常駐でシステム開発業務に従事していた被災者が、平成26年12月頃に精神障害を発病し、平成27年1月28日に自宅で縊死したものの。	起因物なし	その他	10～ 29
2015	5	0 ～ 1	5月2日の夜、「月を見る」と自宅の庭に出ていったところ、芝生の上に倒れているのを発見され、病院へ搬送されたが急性心臓死で1時間後に死亡が確認された。	起因物なし	その他	10～ 29
2014	1	13 ～ 14	恒常的な長時間労働、及びそれを背景としたノルマの不達成等により精神障害を発症し、自宅マンションから墜死した。尚、発病前1か月は、160時間以上の時間外労働に従事していた。	起因物なし	その他	100 ～ 299
2012	1	7 ～ 8	システムエンジニアであった被災者が、自宅マンションで墜落死しているのが発見された。被災者は、顧客対応等で直近1月の時間外労働が160時間を超過していたことから、心理的負荷により精神障害を発症し、自殺が行われたとして労災認定された。	起因物なし	その他	30～ 49

2012	5	22 ～ 23	被災者は1ヶ月の時間外労働時間が100時間を超え、休日勤務も多数ある状況であった。社内で残業中に体調が悪くなり、トイレで血便があり、退社した。帰宅途中に電車で気分が悪くなり途中駅で下車し、救急搬送先の病院で「急性心筋梗塞」と診断され、死亡した。	起因物なし	その他	1～9
2011	5	10 ～ 11	駅から顧客先への向かう途中倒れ、搬送先の病院にて、虚血性心疾患により死亡した。なお、発症前の2カ月の平均時間外労働時間数が107時間であったため、業務上となったものである。	起因物なし	その他	
2010	1	8 ～ 9	トラクターショベルを用いて事業場敷地内の除雪作業中、同僚に声をかけられキャビンから身を乗り出した際、アーム上昇ペダルを踏み込んでしまい、上昇したアームとキャビンフレームの間に首を挟まれ、死亡した。	整地・運搬・積込み用機械	はさまれ巻き込まれ	100～299
2009	1	9 ～ 10	被災者が乗用車を運転して高速道を走行中、道路上の障害物を回避する際に自車がスリップして中央分離帯に激突し、その反動で車がスピンし、トラックに衝突した。事故当日は小雪まじりの雨が降り、路面が濡れていた。	乗用車、バス、バイク	交通事故（道路）	10～29
2008	5	11 ～ 12	被災者は、情報管理システム開発のプロジェクトの管理業務を行っていたが、自宅にて死亡した。	起因物なし	その他	300～
2008	2	19 ～ 20	打ち合わせを終えた被災者が、片側一車線の公道の向かい側の作業場所に戻るため、当該公道の横断歩道を歩いていたところ、右方から走行してきたライトバンにはねられて死亡した。	乗用車、バス、バイク	交通事故（道路）	30～49
2007	6	23 ～ 24	サーキット場を走行する高所作業車の搬器に乗りコースを撮影中、コースに設置された橋に搬器が激突し、搬器から墜落した。	高所作業車	墜落・転落	100～299

2006	10	16 ～ 17	社用により、書類を取りに行き、本社事務所へ帰る途中、自転車で細い路地から信号のない車線を渡ろうとして、軽乗用車にはねられた。	乗用車、 バス、バ イク	交通事 故（道 路）	10～ 29
2005	4	9 ～ 10	出勤のために乗車した電車の事故に巻き込まれた。	鉄道車両	交通事 故（そ の他）	50～ 99
2003	3	3 ～ 4	高速道路の路肩に車を止め自動車の通過音による音響の取材を行っていたときに、本線道路を走行中にパンクして車線から外れた乗用車に激突された。	乗用車、 バス、バ イク	交通事 故（道 路）	100 ～ 299
2003	2	19 ～ 20	顧客先の受付で退社の手続き中に一時的に意識を消失し、入院検査したが異常が見られなかったため2日後に退院手続きをしていたときに、仰向きに倒れ意識不明となった。	その他の 起因物	その他	50～ 99
1999	5	14 ～ 15	建物の6階でコンピュータのメンテナンス作業を行っていたときに、隣接した道路上でガス引き込み管取り替え工事中に発生した火災が、建物に及んだため、逃げ遅れて焼死した。	可燃性の ガス	火災	10～ 29

2021年、2020年の事例は新型コロナ罹患を含む。2011年の事例は東日本大震災による労働災害を含まない。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。